



森ボラ 通信

第186号 2017年11月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆ 2017年度・第二回理事会報告

11月7日(火)、第2回の理事会をアークス本社ビルで開催しました。出席理事7名、委任状3名。横山理事長を議長として議事は進められ次の二議案は承認されました。

冒頭、横山理事長からご挨拶を頂き、アッと云う間の一年間でしたが当協会は献身的な仕事を通して社会的にもレベルの高い事をやっている。木を植え、育てて行くのに8年はかかるが情熱をもってやって欲しい。社会参加型の活動を通して健康に留意して更に頑張るって貰いたい。

来期以降も組織をいかように運営して行くかを踏まえて協会と森ボラ協議会が堅実な運営をして貰いたいとの訓示を頂きました。

議案審議

第一号議案 2017年度前期事業報告及び会計報告

第二号議案 「森ボラ協議会」に係る件 「2017年度上期事業報告及び会計報告」

その他検討事項

1. 次年度、オイスカ・ユネスコの育樹祭事業対応
2. 理事の交代人事

以上

◆ かんぼ生命保険・澄川環境林で植栽ボランティア活動

10月28日(土) かんぼ生命の社員の皆さんとご家族の方々38名が来られて植樹活動を行いました。事の始まりは2年前にかんぼ生命保険会社から緑の保全活動に対して寄付助成を頂き、澄川環境林で“学びの森事業”がスタートしました。

幼稚園児達が育てたカミネッコンの植栽を行っている場所です。第二回目の寄付助成授与式の場でかんぼ生命の皆さんで緑を増やす活動を提案し今回の運びとなりました。

タイムリーな事にかんぼ生命保険事業が10周年を迎える記念行事の一つとしてとんとん拍子に進みました。植栽した苗木はアカエゾマツ50本、協会員が山引きして養生した広葉樹(ミズナラ、イタヤカエデ、クリ、ハルニレ、エゾヤマザクラ)50本を皆さんの手で汗をかきかきの植樹活動でした。



締めとして記念行事に相応しく15年生のエゾヤマザクラを田畑支店長の音頭で植え終えました。かんぼ生命保険会社の社業と社員の皆さんのご多幸を祈りながら大きく育てと願っての植栽は晴天の中無事に終わりました。



今回の植栽記念行事の記として”かんぽ生命誕生10周年記念”の看板を設置しました。お昼は湯澤シェフが腕を振ったキノコの味噌汁に舌包みをうちお腹を一杯にした後、木製プレートにバーニングペンで思い思いのホルダーを作り澄川を後にしました。

今回準備段階から、そして「植栽ボランティア」の進行に当たられた吉田様、大久保様に感謝申し上げます。(文・事務局)

■ 活動報告

◆ マイツリー樹名板取付け (澄川南小学校3年生)

今年で3年目になる樹名板取付けに3年生が12班(一班4~5名)に分かれて10月20日(金)に第一樹木園北側のマイツリー選木地で樹名板取付けを行いました。

今年は事前に協会の方で推薦木を決めて、生徒に選んで頂いたマイツリーの特徴をミズナラの木を輪切りにした板に図案化した3連の樹名板を作成しました。

取付け後は各班で森の観察会を行い幹の傷跡をまじまじと見ていた生徒もいて思い思い楽しんでいました。

その後、協会の高野さんから昆虫の話が始まり昆虫の足は何本だ! 生徒から6本、8本の答えでなごませてから…



今日は澄川の森にいる蝶々の話が始まり”この蝶々なんだ”に”クロアゲハ”って答えた複数の生徒がいて私には蝶々は蝶々だろと思いましたが、生徒恐るべし!

数枚の蝶々が書かれた紙をプレゼントしましたが、これは私(高野)が書いた絵だよ! 写真じゃないよ! にびっくりしていました。

卒業するまでに森に来たらマイツリーの変化や蝶々を見つけて頂けたらと思いました。(文・大窪)

◆ 世界自然遺産白神山地を歩いて

今年の森ボラ研修旅行は10月9日から13日までの4泊5日の日程で青森県と秋田県にまたがる白神山地を17名の参加者で回ってきました。

9日夜苦小牧港を出て10日朝5時八戸港到着、夜明け前下船後バスに乗り収穫前後の稲作地帯を見ながら高速道路を走り今日の目的地岳代自然教育林を1時間ばかり歩きました。

ウッドチップの散策路のまわりは巨岩をつかんだ樹齢2~300年の霊気漂うブナの大木がウエルカムです。柔らかな木肌には森の優しさがあります。林床にはアズキナが赤い実をつけナニワズの緑が元気です。教育林の帰りは藤琴川の溪谷美を堪能し宿泊地中津軽郡西目屋村ブナの里白神館に入りました。



11日は研修のメインイベント津軽峠から高倉森のトレッキングでした。宿を出てリンゴ園の中を抜け巨大な津軽ダム白神湖をながめ暗門アクアビレッジでガイドさんが同乗し、春秋林道建設中止により平成5年従来無名であった広大なブナ林約17千haが白神山地世界自然遺産登録となりました。ガス模様の中完全装備で出発。ブナの葉に落ちた雨が枝から幹へそして根元にと流れています。峰楓やクロモジ、サビタ、獅子頭等林床植物の名前を確認しながら足場の悪い杉道を登り高倉森(829m)到着です。岩木山は雲隠れ、目鼻をつけたら顔になりそうなマザーツリーをバックに記念写真後ビジターセンターで白神遺産の概要を知ることが出来ました。今日のコースはその一部でした。

3日目は静寂に包まれた村を出発、青森市郊外の三内丸山遺跡見学です。約4,5千年前の縄文土器時代の生活を偲びました。栗が豊富で衣食住の中心で墓跡もありました。

青森港で青函航路を懐かしみ、ねぶたの家ワ、ラッセに入り祭りへの情熱を感じました。燃えるような八甲田山の黄紅葉に冬将軍を予感し、ブナの純林に抱かれた秘湯の湯蔭温泉につかり八戸市に入り居酒屋で名物のせんべい汁を味わいフェリーに乗船出港です。

駆け足のみちのく巡り、親睦と教養を深め皆さん元気に札幌に帰ることが出来ました。森ボラ活動15年にふさわしい記念行事でした。

企画運営に尽力された方々ありがとうございました。(文・加藤)

◆ 紅葉が映える澄川の森で、木を育てる活動をして森の恵みをいただく！

～2017年親子森林教室・森しり隊の第5回活動報告～

秋晴れの10月15日(日)、紅葉が映える澄川の森で、森しり隊の子どもたち15名と保護者・協会会員など総勢49名が参加して第5回親子森林教室が開催されました。

秋の森の空気を一杯吸って朝礼・ラジオ体操をした後、苗作りからスタートです。まずは用意したキタコブシ、エゾヤマザクラ、ヤマモミジの種をポットに播きました。次に第2小屋裏の林で、山取りをして苗作りをしました。説明者の樫棒さんが採り方を実演し、子どもたちと保護者が一緒になってミズナラやイタヤカエデ、クリの稚樹をスコップで掘って、一人2～3個ポットに取り上げ、苗畑に並べることが出来ました。

苗作りが済むと次の活動は植樹です。苗畑にあったアカエゾマツ、ハルニレ、キタコブシ、クリの苗木計40本を苗袋に入れ、島田鋤と一緒にリヤカーに積んで子どもたちがC1地区まで運び、春に植樹した場所の手前の植栽地に、親子で力を合わせて一人2～3本植えました。子どもたちは春にもやっているので手慣れたものです。

植樹の帰り道、B6地区の作業道脇の崖地で、表土を少し剥いで露出した地層を見ながら腐葉土について学習しました。説明者の加藤さんは腐葉土が出来る仕組み、その果たす役割を説明し、また、露出した地層を指しながら薄い表土の下に眠る数万年前の火山灰層も確認しました。

第2小屋前広場に戻って、これで午前中の活動は終わりです。スムーズに進んだお蔭で昼食・休憩時間も十分とることができ、親子はたき火でマッシュマロやサツマイモを焼いたり、森の中で枯葉のベットを作って遊んだりして秋の森を楽しんでいました。

午後最初の活動は酒井さんによる葉っぱの話の聴き、葉っぱの変化と働きについての学習をしました。第2小屋横のテーブル席で、子どもたちに紅葉した3種類の色の葉っぱを配り、先ず頭の体操で白神山地に関わる小学5年生の社会の問題から始まりました。そして、葉っぱの表と裏の違いや葉っぱで行う光合成と呼吸の関係、紅葉の色は3種類しかないことなどを学び、『葉っぱのフレディー』という童話の本を是非読んでほしいと結びました。

活動の最後はお待ちかねの“森の恵みを味わう”です。今年は秋が早く、かつ生り物が全般的に不作であることから昨年のようにクリ拾いは出来ませんでした。それでもD3地区に生った貴重なコクワとB6地区の山ブドウを皆で採って味わうことが出来ました。また、子どもたちが昨年植菌し

たキノコはまだ顔を出していませんでしたが、事務局が予め採っておいたナメコを1袋ずつ持ち帰ってもらいました。

最後にみんなで今日一日の活動を振り返ってまとめをして感想を聞くと、コクワが甘くて美味しかったことや苗作りと植樹が体験できて良かったとの声が聞かれました。

次回(第6回目)は年が明けた2月18日で、7月に作ったカンジキを履いて冬の森を探検し、間伐の現場を見学します。(文・清澤)

■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野・矢澤・和田

1. 2017年12月、2018年1月スケジュール・・・幹事会 1月5日(金)
2. 第二回理事会読み合わせ・・・協会及び森ボラ協議会2017年前期活動、会計報告読み合わせ
3. 親子森林教室・・・2018年度のスケジュールと募集要項検討。チラシ作成の件
4. 2017年度森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・・
日本生態系協会ランドデザイン総合研究所の澄川、有明環境林視察
5. 澄川環境林訪問・・・札幌市みどりの課(2名)、宅地課(2名) 源頭部、右精進川視察
6. 委員会報
冬季セミナー・・・12月13日(水) 森林総研 山口岳広先生(90分)・・・樹木の病気の話、
1月18日(木) 安全講習会(90分)・・・現場での事故対応
忘年会の件(12月6.7日 水・木) 北村温泉ホテル・・・22名参加
7. その他
 - ・研修旅行の結果及び会計報告
 - ・2017年10月会計報告

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
9月13日(水)	有明	9	東南台地部整備・食害本数針葉樹14本、広葉樹45本
9月15日(金)	有明	10	東南台地部整備・播種区の実生本数継続調査
9月19日(火)	澄川	21	橋桁丸太24本作成・指標竹300本作成
9月21・22日	支笏湖烏柵舞	15	下草刈り・育樹祭準備・みどりところろ谷口部長視察
9月25日(月)	澄川	18	東橋いちい園児カミネッコン植栽・薪作り
9月27日(水)	澄川	15	光の泉園児カミネッコン植栽・澄南小4生槽木整備
9月29日(金)	有明	12	東南台地部整備・チルホール作業・伐採木整理
10月3日(火)	ラルズビル	12	幹事会・理事会議事録読み合わせ
10月4日(水)	藻岩山幌南の森	13	幌南小4年生自然体験学習・
10月6～7日	支笏湖烏柵舞	15	オイスカ・ユネスコ育樹祭支援・最終検収
10月9～13日	白神山地	17	研修旅行(秋田・青森)
10月13日(金)	澄川	4	親子森林教室準備